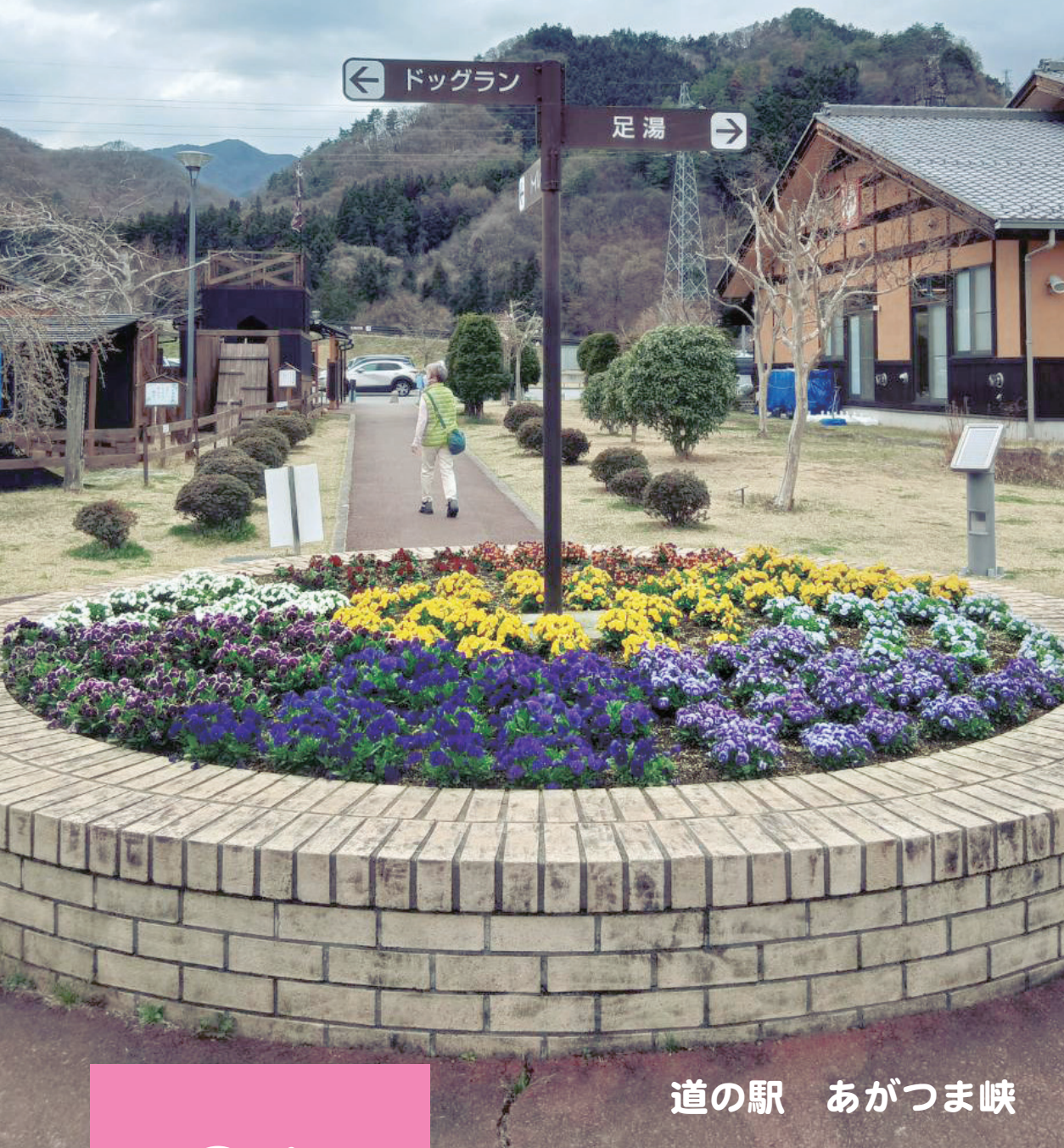




春の気配を感じて



道の駅 あがつま峡

みんなの議会

第 81 号

2026.5.1

今号の Topics

令和 8 年度一般会計予算 . . . P 3

委員会構成が変わりました . . . P 12

No.9
がんばっている人
応援し隊



踊りの愛嬌、音の迫力
杉並区と文化交流の歴史を紡いだ35年間
～上州いわびつ連～

踊る阿呆に見る阿呆…で知られる阿波踊り。その発祥は徳島県だが、昨今は全国各地で「連」と呼ばれる阿波踊りの団体が活躍しています。当町の「上州いわびつ連」もそのひとつ。当町の交流自治体である杉並区をはじめ、県内各地のイベントや慰問演舞など精力的に活動しています。代表の中村啓次さんとメンバーの皆さんにお話しを伺いました。

- 問** 団体の成り立ちは？
- 答** 旧吾妻町と杉並区の自治体交流が始まり、その時に杉並区から高円寺阿波踊りへの参加のお誘いをきっかけとして、平成2年に「上州いわびつ連」が設立されました。
- 問** 練習場所や練習風景について教えてください。
- 答** 東地区の農村環境改善センターや太田公民館などで隔週土曜夜と隔週日曜の午後3時から練習しています。阿波踊りの基本練習をはじめ、(ステージ用の)舞台踊りを練習しています。
- 問** 演舞ではどんなところにこだわっていますか？
- 答** 迫力ある演奏音とリズムカルな男踊りが一体となるようにこだわっています。
- 問** 町内での活動で大切にしていることは？
- 答** イベントや施設慰問など積極的に取り組んできました。お年寄りやお客さんの喜んでもらえる姿が励みになります。

- 問** メンバーはどんな方が参加していますか？
- 答** 若者から熟年層まで町民を中心に町外のメンバーもいて、町外のイベント情報なども聞けて良い交流ができています。
- 問** 阿波踊りの魅力とは？
- 答** 踊りの奥が深くいろいろ試行錯誤がありますが、観客の反応で良し悪しがわかり、とても面白いです。演奏の方は音の一体感を出すのが難しいですね。他団体と一緒に演舞することも多く、現場合わせの時にはいつも苦労しています。
- 問** これからの活動予定や挑戦したいことは？
- 答** 館林市、太田市、町内原町、高円寺、高崎市、中之条町、大泉町などの各イベントや太田市スポレク祭への出演など今年も盛りだくさんです。町内のイベント参加や慰問演舞をもっと増やしたいです。ぜひお声がけください！
- 問** 今まで、1番思い出に残る舞台は？
- 答** なんとと言っても高円寺阿波踊りですね。お客さんの熱量が根本的に違いました。お客さんとのあの一体感は忘れられないです。一度味わうと、もう戻れない…(笑)
- 問** 最後に町民の皆さんへメッセージを！
- 答** 和気あいあいとしたチームです。踊りも演奏も初心者でもOK！祭り好き、踊り好き、音楽好きの皆さん、今年と一緒に高円寺に行きましょう！

みんなの声を
議会だよりに

「がんばっている人応援し隊」のコーナーでは、東吾妻町でがんばっている個人や団体を紹介します。このコーナーに登場してくれる個人や団体を募集します。自薦他薦は問いません。お近くの議会広報特別委員または議会事務局までお声がけください。
gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp

みんなで進める町づくり

～令和8年度一般会計予算 全会一致で可決～

令和8年第1回定例会が、3月3日から16日までの14日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。会期中、町長から提案された令和8年度一般会計当初予算ほか条例改正などの議案が審議され、いずれも原案どおり全会一致で可決されました。



令和8年度の一般会計当初予算は、総額95億8900万円を計上、前年度比4.3%の増、金額にして3億9400万円の増額です。限られた財源の中で既存事業の見直しを行い、新規事業についても、緊急性や必要性、費用対効果などを精査して経費節減と合理化を図り、予算編成を行いました。

令和8年度重点事業

坂上小学校体育館 新設整備事業

(3億5000万円)

坂上小学校体育館は、昭和32年に建築され築68年が経過しています。令和2年度に建築設備、電気設備および機械設備の劣化状況調査を行ったところ著しい劣化が見られたため、新設することとなりました。



坂上小学校体育館を新設

小規模農村整備事業

(8500万円)

各地区からの要望を受け、泉沢太郎谷戸地区、川戸天竜地区、萩生田谷地区、三島唐堀地区の用排水路整備などを実施し、安定的な農業用水を確保します。



用排水路整備を実施



令和8年度 議会 注目事業

1 就農体験や空き家活用推進による移住定住施策の強化 705万円

空き家の増加や耕作放棄地の拡大、農業の担い手不足などの課題解決に向け、庁内連携を強化し、移住支援や農業担い手対策を促進していきます。

- ①就農体験事業の開始
- ②地域おこし協力隊の活用
- ③空き家活用施策の促進



移住と就農の支援に 就農ガイド

2 ドアツードア型デマンドバス導入に向けた検討・準備 565万円

坂上地区を中心にデマンドバスの運行を行ってきましたが、より柔軟で利便性の高い運行形態への見直しが必要となっています。

令和8年度は、利用者の家から目的地まで利用できるドアツードア型の導入に向け、検討・準備を進めていきます。

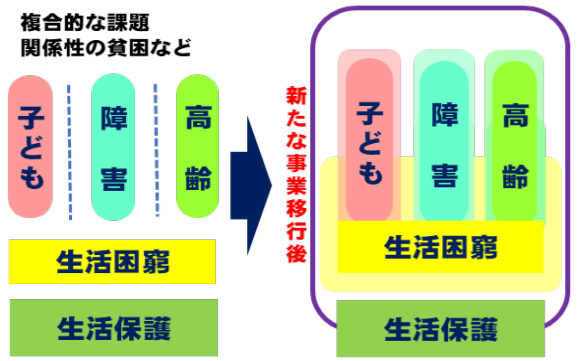


より便利なデマンドバスを

3 重層的支援体制整備事業 5990万円

これまでの支援体制では単独で解決することが難しい事例への支援を円滑に行うことが出来るようになります。

高齢・障害・子ども・困窮など、様々な課題を抱える世帯の複合的なサポート体制を整備します。



4 老朽管(石綿管)布設替工事 3300万円

町内には老朽化した水道管(石綿管)が未だ多く残っており、自然災害等で破裂等の恐れが高まっています。安心・安全な水を安定して供給するため、早期の布設替えが必要です。

国からの補助を受け、計画的に耐震管へ布設替えを進めていきます。



老朽化した水道管(石綿管)



令和8年度一般会計予算の詳細については、広報ひがしがあがま令和8年5月号でご覧いただけます。



令和8年度会計別予算一覧

国民健康保険特別会計

国保税の改定もあり、事業勘定は前年比6.5%増。今後、被保険者の減少が見込まれます。施設勘定は人員増により16.3%増となりました。

後期高齢者医療特別会計

前年比20.4%増となりました。被保険者の増加により保険料負担金が増加傾向にあります。

介護保険特別会計

前年度と比較してほぼ同規模となりました。

地域開発事業特別会計

今年度予算での事業実施予定がないため昨年比97.6%減となりました。

下水道事業会計

前年度と比較してほぼ同規模となりました。

簡易水道事業会計

基本料金の減免の実施により、営業収益は減少しています。資本的収支は、上信自動車道関連工事の減少に伴い比率も減少しています。

水道事業会計

基本料金の減免の実施により、営業収益は減少しています。資本的収支では、上信自動車道関連工事は減少しています。今後、老朽管の布設替え工事を進めていきます。

会計別地方債残高一覧表

地方債残高は、3億7524万円減の見込みとなりました。

会計名	令和8年度	令和7年度	対前年比
一般会計	95億8900万円	91億9500万円	4.3%
国民健康保険特別会計	15億4602万円	14億5221万円	6.5%
事業勘定	7438万円	6394万円	16.3%
施設勘定	3億2086万円	2億6656万円	20.4%
後期高齢者医療特別会計	18億8402万円	18億6699万円	0.9%
介護保険特別会計	34万円	1472万円	▲97.6%
地域開発事業特別会計			

下水道事業会計

項目	令和8年度	令和7年度	対前年比
下水道事業収益	3億8325万円	3億6711万円	4.4%
営業収益	1億7164万円	1億7048万円	0.7%
営業外収益	2億1160万円	2億642万円	2.5%
下水道事業費用	4億9066万円	4億8720万円	0.7%
営業費用	4億5827万円	4億5177万円	1.4%
営業外費用	3238万円	3543万円	▲8.6%
特別損失	0万円	0万円	-
資本的収入	3億4377万円	2億7763万円	23.8%
資本的支出	2億8008万円	2億7682万円	1.2%

簡易水道事業会計

項目	令和8年度	令和7年度	対前年比
簡易水道事業収益	1億812万円	1億514万円	2.8%
営業収益	3240万円	3841万円	▲15.7%
営業外収益	7572万円	6672万円	13.5%
簡易水道事業費用	1億812万円	1億245万円	5.5%
営業費用	9915万円	9346万円	6.1%
営業外費用	395万円	397万円	▲0.5%
特別損失	1万円	1万円	0.0%
予備費	500万円	500万円	0.0%
資本的収入	1億1240万円	2億900万円	▲46.2%
資本的支出	1億2854万円	1億9494万円	▲34.1%

水道事業会計

項目	令和8年度	令和7年度	対前年比
水道事業収益	1億9508万円	2億476万円	▲4.7%
営業収益	1億4848万円	1億8110万円	▲18.0%
営業外収益	4660万円	2365万円	97.0%
水道事業費用	2億1554万円	2億1879万円	▲1.5%
営業費用	1億9531万円	1億9889万円	▲1.8%
営業外費用	1472万円	1440万円	2.2%
特別損失	50万円	50万円	0.0%
予備費	500万円	500万円	0.0%
資本的収入	2億2010万円	3億2503万円	▲32.2%
資本的支出	3億1407万円	4億7559万円	▲34.0%

区分	令和8年度末現在高見込額	令和7年度末現在高見込額	令和6年度末現在高見込額
一般会計	86億2505万円	89億3946万円	94億1957万円
下水道事業会計	16億1432万円	17億4795万円	19億3378万円
簡易水道会計	2億6676万円	2億6685万円	2億8820万円
水道事業会計	3億4418万円	2億7129万円	2億8375万円
合計	108億5032万円	112億2556万円	119億2530万円

(1万円未満は切り捨て)

予算決算特別委員会 令和8年度一般会計予算 質疑

3月9日・10日の2日間、予算決算特別委員会が議場で開催されました。重野能之委員長の進行のもと、令和8年度一般会計予算の審査が行われ、活発な質疑が行われました。

各委員からの主な質疑を掲載します。

齋藤 貴史 委員

◇移住定住対策について

問 移住定住対策事業の費用対効果は。

企画課長 令和2年からの6年間で、お試し住宅の利用が34件あった。令和4年と令和5年には、それをきっかけに移住した方が1組ずつあった。空き家バンクは、ここ6年間で新規登録が13件あった。契約が成立したものは7件だった。

問 重点事業で、農業体験による移住定住事業が始まる。ストーリーある施策をうれしく思う。先進地は民間不動産事業者と連携して実績を出している。当町の考えは。



東吾妻町 空き家バンクサイト

企画課長 令和7年度に民間事業者が全国展開している空き家バンクに加入した。全国891自治体が参加しており、無料で利用できる。プラットフォーム作りを進めている。

その他の質疑

- ・国庫支出金の活用
- ・農業振興（新規就農者育成）
- ・群馬原町駅前の都市計画
- ・地域防災
- ・国立音大附属幼稚園との人事交流
- ・岩櫃城跡保存活用計画策定
- ・原町地区公民館機能

増子 京子 委員

◇がん患者医療用ウィッグ等購入費助成金について

問 ウィッグだけでなく、頭を覆うものと条件を広げていただけたようだが、がん治療だけでなく、他の疾患による抜毛にまで条件を広げる考えはあるか。

保健福祉課長 当初の条件から頭を覆うものと条件を広げた効果もあり利用者も増えた。変更したばかりで

質問のような状況の線引きが難しいため、今後しっかり調査研究を進めていく。

◇ひがしあがつま町魅力情報発信事業について

問 ひがしあがつま町魅力情報発信事業に329万4千円とあり、水仙ちゃん忍者バージョンのぬいぐるみ作成とある。販売用としての企画か。

まちづくり推進課長 忍者をベースとしたイベントを

JR等と連携し8月くらいに行う予定。PR用として300体を観光協会など町の各場所に置かせていただく方向で考えている。

問 観光協会の場所がわからないというご意見をいただく。町のPRをするためにも、もう少しわかりやすい場所にしてはどうか。

まちづくり推進課長 わかりやすくPRし、展開できるように考えていきたい。

渡 一美 委員

◇農業分野の補助について

問 補助制度を活用し、新規就農の拡大と高収益化、さらにはブランド化を進めていく考えはあるか。

農林課長 前向きに検討したい。

◇町ホームページについて

問 ホームページリニューアル委託料700万円の内容はどんなものか。

総務課長 全面的なリニューアルを実施する。

問 現状のホームページは古く、町の魅力が十分に伝わっていないと感じる。公式LINEも開設された中で、今回のリニューアルは良いタイミングだと考える。今後は、タイムリーな情報発信と、各担当課が簡単に更新できる仕組みの整備が重要だと思うが、いかがか。
総務課長 できるだけ多くの方に見ていただき、町を

PRできるようなページにしていきたいと考えている。



その他の質疑 ・法人固定資産税について

井上日出来委員

◇デマンドバスについて

問 デマンドバスのフルデマンド化（ドアツードア型）が進展する。今後の見通しとしてパブリックコメントの実施があるが、実施時期とその方法は？町公式LINEの活用を進めてほしいが。

企画課長 実施時期は未定。町公式LINEも活用可能であれば検討していきたい。

◇交通結節点整備事業について

問 交通結節点整備事業約1907万円は、内容が相当決まった上で事業を進めているのか。

建設課長 すでにある基本構想を基に基本計画の策定に入る。導入規模の検討、管理運営計画や事業費の算定、町民の意見聴取など、多岐に渡る内容となる。

問 中澤町長は本事業を次期町長に一任すると明言された。新町長就任後、事業

計画の見直しなども考えられる。柔軟性を持たせて進めるべきと考えるが。

副町長 参考意見として伺っておく。

その他の質疑

- ・社会福祉協議会への委託内容
- ・原町日赤への補助金と財源は
- ・食味分析機器購入について
- ・温川キャンプ場の水運搬費
- ・地域おこし協力隊について
- ・気象防災アドバイザー講師料
- ・地域防災計画の改定内容は他

里見 武男 委員

◇アガタムについて

問 4月より指定管理となるが、指定管理料1200万円はどのような基準で設定したか伺いたい。

まちづくり推進課長 指定管理者と、以前と同程度以上の運営が初年度において成り立つ額ということで協議し、予算計上した。

◇あがつま共同霊園について

問 工事請負費1000万

円の内容は。

町民課長 あがつま共同霊園のトイレ改修工事費として計上した。

◇キャンプ場のAEDについて

問 温川キャンプ場とあづま森林キャンプ場にAEDが設置されていない。万一の時必要と思うが。

まちづくり推進課長 設置する方向で検討したい。

◇防火水槽設置工事について

問 防火水槽2基分の工事請負費について、設置場所

は決まっているのか。

総務課長 今後、各行政区からの要望に応じて協議・現地確認を行い、優先度を決め選定していく。

◇出産祝い金について

問 近隣の自治体では増額されているところが多いが、当町では10年前と変わらない。人口減対策として見直しが必要だと思うが。

保健福祉課長 もっともな意見だと思うので今後の参考としたい。

小林 光一 委員

◇ふるさと応援寄付金について

問 自主財源である「ふるさと応援寄付金」について昨年度より当初予算が減少している。努力している姿勢が感じられないが。

企画課長 無理な数字は入れられなかったが、今後増やす方向で検討する。

◇人口減少問題について

問 喫緊の課題である「人口減少問題対策事業」につ

いてさまざまな施策が実施されているが、成果が得られていない。しかも、婚活関連事業の予算はここ数年100万円と変わっていない。努力する姿勢が感じられないが。

企画課長 前向きに検討する。

◇繰出金について

問 一般会計からの繰出金と介護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計への繰入金に、それぞれ2000円、1000円の差が生じ

ている。繰出金と繰入金は同額になるべきではないか。
企画課長 当初予算を計上する際に千円未満を切り捨てたり、切り上げたりしたためである。

その他の質疑

- ・萩生地区活性化事業の立て看板について
- ・吾妻溪谷活性化対策事業の指定管理料について
- ・榛名湖周辺特定環境保全公共下水道事業の関係市町負担金について 他

竹淵 博行 委員

◇ふるさと応援寄付金について

問 令和8年度の予算額が2500万で前年度より低い金額であるのはいかなものか。仮に5000万円という努力目標値が必要と考える。今後の努力という気持ちや姿勢が感じられないが。

町長 これについては、担当課もしっかりと活動してきている。

企画課長 数字的には前年度実績を踏まえたものという形であるが、取組については今後いろいろなことを考えながら、寄付額の増を目指していきたいと考えている。

問 ふるさと応援寄付金は自主財源であり自由に使える。寄付金は黙っていれば減る、努力しなければ増えない。増は目指すが、努力は見えない金額という解釈が良いか。

企画課長 努力しないということではなくて、努力は今後もしていきたいと考えている。

その他の質疑

- ・アガッタン指定管理料について
- ・結婚新生活支援事業補助金について
- ・婚活関係事業負担金について
- ・健康保険（施設勘定）関連質問
- ・あがつま共同霊園（トイレ改修工事）について
- ・温川キャンプ場について
- ・水仙ちゃんノベルティグッズについて
- ・萩生地区の活性化事業について 他

佐藤 聡一 委員

◇移住・定住について

問 地域おこし協力隊の募集、移住、定住、就農、空き家、空き農地問題を一体化して進める計画になっているが、各課一体および農協等も交えて、町全体で進めてはどうか。

農林課長 役場・農業委員・担い手協議会・農協等を交えて、農地付住宅に入居された方との交流を進める。

企画課長 原町のお試し住

宅も含め、地域おこし協力隊、移住コーディネーター等と協力して進める。

◇デマンドバスについて

問 令和9年度にドアツードアを実施する計画になっているが、実際に困っている高齢者が多いので、早急に進めてもらいたい。

企画課長 令和9年度中に実証運行を進めたい。

◇いわびつ荘について

問 いわびつ荘の老朽化が

大分進んでいる。利用者が大勢いるが、建物の老朽化がさらに進むと廃止も考えられる。今後の見通しは。

保健福祉課長 社会保障のセイフティーネットでもあるので、きちんと分析を進める。

その他の質疑

- ・ふるさと応援寄付金
- ・森林環境譲与税
- ・小学校統合に関してのスクールバス運行
- ・防犯カメラリース
- ・防災業務委託費

重野能之委員長

予算決算特別委員会総括

令和8年第1回定例会で当委員会に付託された議案第1号「令和8年度東吾妻町一般会計予算」について慎重審査しました。予算総額は前年度比4.3%増の95億8900万円です。審査に当たり、まず本会

議において担当課長から予算内容の説明を受けました。

今回の審査でも各課でまとめた「令和8年度予算案重点事業の概要」により、目的・内容・対象物・期待される成果・今後の見通しなどの説明を受け、大変分かりやすく予算書全般とともに審査を行いました。

各委員からは活発な質疑が行われました。委員会で

は質疑終了後、「令和8年度東吾妻町一般会計予算」採決の結果、委員全員の賛成により議決すべきものと決しました。

執行部におかれましては、審査の過程で各委員より出された質疑や意見について十分に意を用いられ、事務の執行に当たられるよう要望しました。

令和7年度補正予算

一般会計補正予算(第6号) や**各特別会計**は、事業の確定見込みによる減額のほか、主な追加分は以下のとおりです。

【追加分】

- ・新基本計画実装・農業構造転換支援事業補助金 1億2888万円
- ・障害児者総合支援事業 3102万円
- ・減債基金積立金 1718万円

会計名		補正額	予算総額
一般会計		▲6736万円	95億3950万円
国民健康保険特別会計	事業勘定	4764万円	15億391万円
	施設勘定	10万円	7397万円
後期高齢者医療特別会計		545万円	2億7727万円
地域開発特別会計		0万円	1472万円
簡易水道事業会計	収益的支出	127万円	1億449万円
	収益的収入	255万円	2億852万円
水道事業会計		1855万円	2億3855万円

簡易水道事業会計補正予算(第2号)は、水道事業会計への負担金を127万円追加し、総額1億449万円としました。**水道事業会計補正予算(第2号)**は、収益的収入として他会計からの負担金255万円の増、また収益的支出として委託料360万円、過年度損益修正損1494万円の追加がありました。

質疑

問 竹淵博行 議員 地籍調査費の測量・設計・監理委託料が半額以下ほどに減額されているが理由は何か。

答 農林課長 入札の結果、半分以下の金額での落札となった。もともとの設計金額は県の試算で出したものであった。

問 竹淵博行 議員 いきすぎた低入札とならないよう、ある程度の線引きが必要とを感じるが。

答 農林課長 今回の委託料は、最低価格の設定が出来ない。開札の結果となってしまうのは致し方ないと思う。

問 佐藤聡一 議員 ふるさと応援寄付金事業が減額されているが、増額出来るよう努力をお願いしたい。

答 企画課長 寄付に伴う返礼品の経費を減額した。来年度は取り組みを強化していく。

専決処分の承認

一般会計補正予算(第5号)は、歳入歳出それぞれ1252万円を追加し、総額96億687万円としました。2月8日執行の衆議院議員選挙および最高裁判所裁判官国民審査の経費に係るもので、特に急を要するため専決処分とされました。

条例改正

東吾妻町職員定数条例の一部を改正する条例 →下水道事業が公営企業会計へ移行したことなどにより、区分の整理を行うもの
東吾妻町災害弔慰金の支給等に関する条例 →災害によって死亡したり障害を負った住民に対する弔慰金および見舞金の支給について定めるもの
東吾妻町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例 →融資を受けた小口資金返済の負担軽減を図るため、借換制度の期間を1年間延長する改正
東吾妻町観光駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 →「道の駅西側駐車場」を追加するもの
東吾妻町都市公園条例の一部を改正する条例 →語句の訂正および利用の際の禁止事項等を明文化するもの
東吾妻町吾妻峡レンタサイクル事業の実施及び使用料に関する条例 →事業の実施および使用料について必要な事項を定めるもの
東吾妻町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 →福祉医療の受給資格確認にマイナンバーを活用することについての所要の改正
ひがしあがつま地域活動支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例 →築70年以上経過し老朽化が著しい施設を用途廃止するもの
東吾妻町立学校給食費徴収条例の一部を改正する条例 →物価上昇に伴い、給食費を20円引き上げるもの

国民健康保険税の改正 令和8年4月から

区 分		改 正	現 行
医 療 分	所得割	7.20%	7.10%
	均等割	32,100円	30,000円
	平等割	21,400円	21,000円

東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例が可決され、国民健康保険税が改正されます。令和8年2月19日に国民健康保険運営協議会より「当町の国民健康保険事業の運営において、財政状況が厳しく、将来にわたり国民健康保険を堅持していくことが難しいと危惧される。今後も町民の暮らしを守り、引き続き安定した国民健康保険運営をするために国民健康保険の税率を見直しを付すので、十分な配慮のうえ実施されたい」との答申を受け、その答申にのっとり保険税率を見直すこととなりました。

子ども誰でも通園制度 令和8年4月から開始



東吾妻町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例が可決されました。乳児等通園支援事業（通称「子ども誰でも通園制度」）が令和8年4月から東吾妻町でも開始されました。保護者の就労の有無にかかわらず、保育所を利用できます。

※ご利用を希望する方は、学校教育課までお問い合わせください。

利用料	1時間300円
対 象	6カ月～満3歳まで ※保育所に入所している子どもは対象外
場 所 (受入人数)	・はらまち保育所 (1名) ・あづま保育所 (1名)
時 間	月～金曜日 8:30～11:30 ※保育所の行事の日、祝日・年末年始等を除く
利用上限	1カ月10時間まで利用可能

▼令和8年度に繰り越すことが決まった事業

事 業 名	金 額
庁舎管理事業	200万円
その他財産管理費	482万円
社会保障・税番号制度システム整備費	99万円
定住促進事業住宅取得奨励補助金交付事業	583万円
医療・介護・福祉施設等物価高騰対策支援給付金支給事業	2061万円
物価高対応子育て応援手当支給事業	2468万円
定期予防接種事業	1645万円
新基本計画実装・農業構造転換支援事業	1億2888万円
県単小規模土地改良事業	1648万円
東吾妻町中小事業者SDGs推進補助金	150万円
住宅新築改修等補助金	300万円
上信自動車道関連事業	4630万円
町道1126号線道路改良事業	1574万円
消防ポンプ車（第3分団第1部入替）購入事業	3300万円
坂上小学校体育館新築工事関連事業	2000万円
東吾妻中学校多機能トイレ新設及び相談室改修工事関連事業	1636万円
文化財保護事業	120万円
岩櫃城跡保存整備事業	3190万円

新副議長選任

副議長の議員辞職にともない、新副議長に里見武男議員が選任されました。任期は令和9年5月12日までです。



里見 武男 議員

監査委員選任

監査委員の辞職にともない、監査委員に増子京子議員が選任されました。任期は令和9年5月12日までです。



増子 京子 議員

表 彰

地方自治の発展に貢献した功労者として、小林光一議員が群馬県町村議会議長会長から自治功労者表彰（議員10年表彰）を受け、第1回定例会初日（3月3日）に高橋議長から伝達が行われました。



小林 光一 議員

議員の辞職について

3名の方が議員辞職されました。

高橋徳樹さん	2月28日付	辞職
齋藤貴史さん	3月16日付	辞職
重野能之さん	3月16日付	辞職

委員会構成が変わりました

議員辞職に伴い議会の委員会構成が次のとおりとなりました。

総務建設常任委員会	
役職	氏名
委員長	井上日出来
副委員長	佐藤 聡一
委員	里見 武男

文教厚生常任委員会	
役職	氏名
委員長	渡 一美
副委員長	増子 京子
委員	高橋 弘
委員	小林 光一
委員	竹淵 博行

議会運営委員会	
役職	氏名
委員長	佐藤 聡一
副委員長	小林 光一
委員	増子 京子
委員	渡 一美
委員	井上日出来

予算決算特別委員会	
役職	氏名
委員長	里見 武男
副委員長	竹淵 博行
委員	増子 京子
委員	渡 一美
委員	井上日出来
委員	小林 光一
委員	佐藤 聡一

議会広報特別委員会	
役職	氏名
委員長	里見 武男
副委員長	竹淵 博行
委員	増子 京子
委員	井上日出来
委員	小林 光一
委員	佐藤 聡一

新議員紹介

令和8年4月12日に執行された東吾妻町議会議員補欠選挙において、下記の方が当選しましたので紹介します。任期は令和8年4月12日から令和9年5月12日までです。



成瀬 裕美 議員
須賀尾



片貝 友久 議員
原 町



山田 明美 議員
大柏木



安濟 正美 議員
原 町

第1回臨時会

令和8年1月16日～20日

令和7年度補正予算

物価高騰から暮らしを守る対策事業を実施

会計名		補正額	予算総額
一般会計		2億2547万円	95億9434万円
水道事業会計	収益的収入	121万円	2億597万円
	支出	121万円	2億2000万円

一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出それぞれ2億2547万円を追加し、総額を95億9434万円としました。主に、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を受けて実施する、物価高騰対策事業に伴うものです。実施事業は以下の表のとおりです。

水道事業会計補正予算(第1号)は、収益的収入に一般会計補助金121万円を追加し、総額を2億597万円とするものです。また、収益的支出にシステム改修費121万円を追加し、総額を2億2000万円としました。

物価高騰対策事業

事業名	事業内容	予算総額
医療・介護・福祉施設等物価高騰対策支援給付金支給事業	町内の医療・介護・福祉施設に対して給付金を支給	2061万円
物価高騰対策省エネ家電買い換え促進補助金	省エネ基準を満たすエアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機・LED照明機器の買い換えに対して補助金を交付する ※詳細は町民課へお問い合わせください	1000万円
水道料金の減免	町営水道料金の基本料金を減免する 町営以外の水道は基本料金相当額を補助する	3001万円
農業者など支援金給付事業	町内の農業者等に対して支援金を交付する	600万円
賃上げ促進支援金	群馬県が実施する「ぐんま賃上げ促進支援金」を活用した町内事業者に対し補助金を支給する	150万円
物価高騰対策商品券給付事業	住民全員に1人あたり1万円の商品券を給付する 18歳(高校3年生世代)までの子どもに対して1人あたり1万円を上乗せする	1億3445万円
物価高対応子育て応援手当支給事業	18歳(高校3年生世代)までの子どもを養育している方に子ども1人あたり2万円を支給する	2388万円
地域子ども・子育て支援事業における事業継続支援事業補助金	地域の子ども・子育て支援事業の運営を継続できるように補助金を交付する	10万円

議案の審議結果

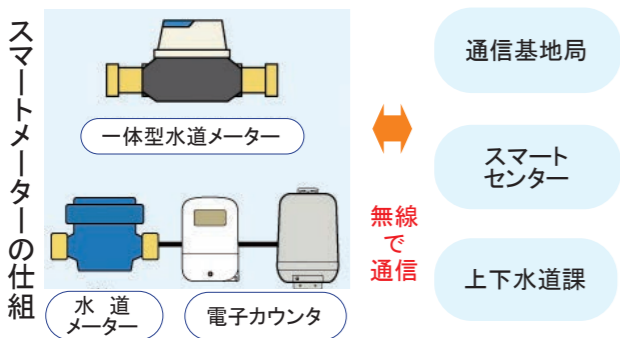
第1回 臨時会 (令和8年1月16日～20日)												
議案名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	議決日
					高橋 貴史	齋藤 京子	増子 一美	井上日出来	高橋 徳樹	里見 武男	小林 光一	重野 能之
令和7年度東吾妻町一般会計補正予算(第4号)	10	9	0	可	-	○	○	○	○	欠	○	1/20
令和7年度東吾妻町水道事業会計補正予算(第1号)	10	9	0	可	-	○	○	○	○	欠	○	1/20

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、/…退席 議長(1番)は採決に加わらないため「-」で表示

常任委員会の活動

議会では、各委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

総務建設常任委員会



水道事業の経営改善と業務効率化を議論

定例会中の委員会では、2日間にわたり所管8課の事務調査、また議案審査を行いました。特に水道事業においてはスマートメーター導入による業務効率化の検討や管路更新率向上のほか、ふるさと応援寄付金、デマンドバスのドアツードア型フルデマンド化、新規就農者支援の取り組みなど、活発な質疑が行われました。

今回の委員会注目3事業!!



ふるさと応援寄付金の上積み
 寄付額が昨年より減少傾向にあり、委員からは「自治体の裁量で使える貴重な財源」として、増額をめざして取り組むことが意見されました。

デマンドバスの町内全域フルデマンド化へ
 令和8年度にAIを活用した「ドアツードア型」運行管理システムの導入を実施し、令和9年度中に実証運行をめざすとの説明がありました。

新規就農ガイドブック発行
 「東吾妻町はじめての就農ガイド」が作成され、当町の各種支援策について希望者にわかりやすく解説されており、委員からも期待を寄せる意見が出ました。

文教厚生常任委員会

子ども・福祉・施設に関する取り組み



子育て支援や福祉体制の充実、ならびに施設整備の状況について説明・視察を行い、今後の運用や改善に向けた調査・研究を実施しました。



弓道場の現地視察

こども誰でも通園制度の実施について
 あづま・はらまち保育所で各1名、月10時間まで利用可能になります。保育所に通所していない子ども、保護者の通院や買物などの際にも利用できることから、利便性の向上や負担軽減が期待されます。

福祉体制の強化と新規事業について
 新たに5歳児健康診断が実施されます。発達の節目に子どもの状態を把握することで、早期支援や適切な対応につながり、子どもの発達支援のさらなる充実が図られる見込みです。

弓道場の改修（視察）
 弓道場の改修内容について現地視察を行い、整備状況や利用環境の改善について確認しました。利用者の利便性および安全性の向上が図られており、今後のさらなる活用が期待されます。

今回の委員会注目3事業!!



秩父市の地域連携体制を視察～総務建設常任委員会

1月29日、秩父市へ視察を行いました。秩父市の林業振興、および日本版DMOの先駆け「秩父地域おもてなし観光公社」について関係職員の方々から説明を受けました。

秩父市は森林行政を専門的に担う「森づくり課」を設置。人材確保とその育成手法は大変参考になりました。また、秩父市では観光基本計画の策定にあたり、最初に市民参加型ワークショップからスタート。マーケティング、民泊、インバウンド、空き家バンク、ふるさと応援寄付金、移住支援など、総合的な視野で展開している点は「稼ぐための地域経



営モデル」として高く評価できます。また、これまで行政視察報告書は代表で委員長のみ提出することが慣例でしたが、今回視察に先立ち、委員全員が各々報告書を作成・提出することを申し合わせ、定例会最終日に町執行部と議員全員に配布されました。

文教厚生常任委員会 所管事務調査

2月9日に、所管事務調査を行いました。まず健康増進センターで、トレーニングジム施設を現地調査し、運営状況の説明を受けました。次に、原町地区の弓道場で改修状況を現地確認しました。



特別委員会 その他の活動

吾妻郡町村議会議員研修会

2月18日に、中之条町のツインプラザにおいて開催された吾妻郡町村議会議長会議員研修に参加し、早稲田大学デモクラシー創造研究所地域経営部会長 中村健氏の「時代は変わった！自治体経営の構造を変えよう！」と題した講演を聴きました。



〈議員全員協議会〉
現在進行中の課題を協議

定例会中の議員全員協議会で協議された内容です。

- (1) 遊休資産利活用事業の進捗状況について
- (2) ひがしあがつま地域活動支援センターの指定管理取消について
- (3) 新型インフルエンザ等対策行動計画について
- (4) 吾妻郡一般廃棄物処理施設の現況について
- (5) 令和7年度トライアルサウンディング利用状況について
- (6) 東吾妻町立小学校再編に関する方針について
- (7) 湯けむり国スポ・全スポぐんま2029の現況について



「箱島ホタルは東吾妻町の輝き」

うえはら し の ぶ
上原 志之夫 さん（箱島）



毎年6月を迎えると箱島ホタル第1保護地はホタルの乱舞が始まります。上旬はゲンジボタルが勇壮に舞い、下旬になるとヘイケボタルが草むらに宝石をばらまいたかのように輝いている様子が鑑賞できます。群馬県内はもとより関東一円、遠くは関西方面からも箱島ホタルの観賞に多くの方々を訪町して下さいます。

この貴重なホタルの輝きを愚直に守り続けているのが「箱島ほたる保護の会」です。箱島湧水が日本名水百選に認定された昭和60年に本会は発足して現在に至り、私が5代目会長を務めています。ホタルの生態を維持するために、春と夏に第1～3保護地と周辺河川の除草や水路整備、鑑賞者の誘導やホタルの説明、町内5小学校のホタル鑑賞会や学習会など、多岐にわたり活動しています。写真の帽子とベストのマークは東小の児童がデザインしてくれました。

ホタルシーズンの週末には多くの自動車押し寄せ、箱島公民館周辺は混雑が絶えません。あづま養魚場や甲波宿禰神社などを臨時駐車場

として借用し、交通指導員や保護の会会員が自動車を誘導しています。ホタルは光に惑わされやすい（光害といいます）ので、街灯を消して家の照明が外に漏れないようにするなど地域の皆様にもご協力をいただいております。まさに箱島を挙げてホタルの輝きを守っています。

本会の会員は町内外から現在24名が活動しています。ホタルの保護活動に興味のある方にはご入会のご協力いただければ幸いです。

昨年度、第1保護地の防護柵が老朽化して寄りかかると倒れそうになった問題を町に取り上げていただき、擬木の丈夫な柵が整備されました。向こう40～50年は安全を担保できそうです。また、地域活性化事業補助金で駐車場誘導看板を新規に制作できました。看板の設置で鑑賞者は暗い夜道を迷わず安心して駐車できると思います。とても有り難い支援に感謝です。

これからも箱島ホタルの輝きを愚直に守り続け、住民が誇りを持って暮らすまちづくり、東吾妻町の進展に寄与していきたいと思っています。

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は6月3日開会予定

6月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 本会議	4 常委	5 常委	6
7	8 特委	9 全協 特委	10 休会	11 本会議	12 本会議	13
14	15	16	17	18	19	20

*予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

編集後記

雪不足の冬が過ぎ、いつの間にか春爛漫の季節が巡ってきました。年明けには「町公式LINE」が始まり、町民の皆さまとリアルタイムな情報共有が可能になりました。また令和9年度にはデマンドバスの町内全域フルデマンド化が計画され、これまで議会で繰り返し提言してきたことのの一つ一つが実を結ぶことで、一議員として喜びもひとしおでした。この喜びを、これからも新人議員の皆さんと分かち合えたら…と願っています。

(井上 日 出来)



議会広報特別委員会

- 委員長 里見 武男 副委員長 竹淵 博行
委員 増子 京子 委員 井上日 出来
委員 小林 光一 委員 佐藤 聡一

